

未来のために 自分がすべきこと

総合通信基盤局電気通信事業部
事業政策課企画係長

樋口 有二

平成18年入省

PROFILE

Higuchi Yuji

平成18年	4月	総務省採用 総合通信基盤局総務課
平成18年	8月	総合通信基盤局電波部電波環境課
平成21年	7月	大臣官房秘書課
平成23年	7月	情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室
平成24年	8月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課専門職
平成26年	8月	総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課主査
平成27年	8月	現職



とある 一週間

月曜日

今週予定している業務を上
司に説明。進捗報告・認識
共有は基本です。

火曜日

法令改正の内容について関
係省庁と打合せ。主張が激
しくぶつかります。

水曜日

データ収集と会議資料の準
備。難しい制度の説明もわ
かりやすく表現。

木曜日

会議当日。自分が作った資
料が世に出ると、ちょっと
グッときます。

金曜日

事業者との打合せと、次回
会議のネタ探し。終わった
ら飲みにもでいくな(笑)

次世代への移行を仕掛ける

このパンフを読むくらいの年代の方は携帯電話の某アプリで普段から連絡を取っていると思いますが、携帯電話が便利になっていく裏で、昔から通信を担ってきた固定電話にも革新の時期が近づいています。電話をつなげる従来の設備が古くなってきたので、全国的に更改する必要が出てきたのです。

実感が湧かないかもしれませんが、昔ながらの固定電話の設備とその仕組みは今でも多く利用されています。これが無いと困る人もいます。

何事も、新しいものにシフトする時は多くの問題が出ます。必要なモノ・費用はどれくらいか、設備を変更したらサービス内容も変わるんじゃないのか。大きい事業者、小さい事業者、利用者の主張を聞き、ルールを整えなければなりません。

利用者に不便さを、事業者に不公平さを感じさせること無く、今のサービスを次世代へスムーズに移行させるために何をすべきか。議論は始まったばかりです。我々の使命の大きさを実感しています。

それ、やろう。

公務員という決まった作業を淡々とこなすイメージがありますが、中央省庁ではそういう運用面より、むしろ(少なくとも総務省は)次世代を見据え、世の中のルールをどう創りあげていくのかを企画・判断する仕事の方が多いです。特に情報通信は技術革新やモノ・サービスの変化が激しい分野なので、皆が常に新しい考えで仕事に臨んでいます。

そんな総務省の“売り”は、やりたいことがあるなら主張できる風通しの良さ、そして実行できる懐の広さ、だと思います。もちろん、中央省庁という立場上いろんな人が関わるので調整が難しいこともあります。でも、それを乗り越えてやり遂げる気がある人を妨げることはありません。

資料の印刷はコピー機がやります。上司だってお茶くらい自分で汲みます。あなたがやることは、通信がどう発展すれば生活がより良くなるかを考え、世に示していくことです。通信、生活を、国を、変えてみたいですか？ 道は、拓けています。



Private Time

自称・ロック馬鹿です。海外の大物が来日すると聞けばライブ会場へと車を走らせます。好きなバンド、好きな曲、素晴らしいパフォーマンスを目の当たりにする興奮は言葉では表せません。最近は歳のせいかゆっくりと楽しむことが増えました。気がつくとも会場の前方に移動して盛り上がっている自分がいます。気をつけよう……